

令和2年度
(令和2年9月入学)

九州産業大学大学院 学生募集要項

(一般・社会人・外国人留学生入学試験)

博士後期課程

経済・ビジネス研究科

情報科学研究科

工学研究科

芸術研究科

九州産業大学

建学の理想

九州産業大学大学院(以下「大学院」という。)は、九州産業大学(以下「本学」という。)の目的使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とし、建学の理想「産学一如」の実現を目指して教育・研究体制を整備している。産学一如とは、すなわち、「産」(産業界)と「学」(大学)とを連動させ、「学」を「産」に活かす教育(理論と実践の統合)を志向することである。

大学院の人材養成及び教育研究上の目的

大学院は、本学の建学の理想のもと、広く産業界の期待に応えられる“実践力”“熱意”“豊かな人間性”を持った人材を輩出すべく、深い教養に裏打ちされたグローバル化に対応できる心身共に健全な人間教育の実践に努めている。

各研究科の人材養成その他教育研究上の目的

【経済・ビジネス研究科】

経済・ビジネス研究科は、経済およびビジネス社会におけるグローバル化、リージョナル化、情報化およびサービス化の変容と進展に対応していくために、経済・コマース・マネジメントそれぞれの分野における喫緊の課題を解決する能力の育成等を目標とする。また、本研究科は昼夜開講制の特色を活かし、本学の建学の理想である、「産学一如」の実現を目指しながら、福岡・九州の地域社会および産業界のニーズに対応できる実践的教育を通じた人材育成を教育理念および目標とする。

[入学者の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)]

(博士後期課程)

博士後期課程では一専攻で、「研究者養成コース」と「社会人特別コース」を設けている。研究者養成コースは博士前期課程から5年間の一貫教育の指導を受ける学生の受け入れ、社会人特別コースは、企業等の在籍者、研究機関等の研究員および大学等の教員として教務経験と研究実績がある社会人の受け入れを行う。

【情報科学研究科】

「社会と人間のためのIT(情報技術)」を教育研究の理念とし、高度情報社会の諸問題に対応出来る高度専門職業人および研究開発者の育成を目標としている。特に、我が国が目指す知識基盤社会の展開を支える情報システムを構築できる技術と展望を持った人材や人間の本質である知的処理能力をコンピュータで実現あるいは支援する技術を開発できる人材を育成する。この目標達成に向け、情報科学・技術を基礎から応用まで深く修得し、高度情報社会の発展を担い得る高度の研究開発能力や問題解決能力を養う教育課程を編成している。

[入学者の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)]

(博士後期課程)

情報科学・情報技術の基礎から応用までの広範な知識と能力を有し、研究対象に対する旺盛な探求心と研究遂行に強い意志を持つ者を受け入れる。このため、博士前期課程からの進学者のみならず企業等の研究開発機関で現在活躍している中堅研究開発者も対象とする。

【工学研究科】

建学の理想である「産学一如」の実現を目指し、地域社会および産業界の要請に対応するため、物事を総合的な観点からとらえ、人・社会・地球に受容されかつその発展に貢献できる産業技術を創出し展開できる人材の養成を目指している。

[入学者の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)]

〈博士後期課程〉

先駆的かつ高度で専門的な工学の研究者を目指すにふさわしい基礎的な研究能力を持ち、研究対象に対する旺盛な探求心と研究遂行に強い意志を有する者、社会および産業界における実践的な活動の経験に立ち、真理を探求する強い意志を有する者を受け入れる。

【芸術研究科】

芸術研究科は、21世紀の知識基盤社会を多様に高度で知的な素養のある人材など、多様化する社会に応えられる有為な人材を育成することを目標にしている。前期課程は、学部における芸術諸分野の専門的な教育との繋がりに配慮しつつ、専門性と学際性の両立のできる美術研究者、アーティスト、デザイナー、クリエイター、写真家、映像作家の人材育成を目標に高いレベルの教育を行う。後期課程は、現代の芸術文化を担う高次元の研究者とアーティスト、ジェネラリスト、プロデューサー、教育研究者の養成を目標にしている。

[入学者の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)]

〈博士後期課程〉

現代の芸術文化を担う高次元の研究者とアーティストの養成を目標に、本学芸術研究科および他大学大学院修了生、民間企業・研究機関の在籍者、外国人留学生、一般社会人など多様な人材を受け入れる。

1. 募集研究科及び募集人員・入試日程

研究科	専攻	募集人員	令和2年9月入学試験		
			出願期間	試験日	合格発表
経済・ビジネス研究科	経済・ビジネス専攻	若干名	令和2年 6月23日(火)～ 6月30日(火)	令和2年 7月11日(土)	令和2年 7月31日(金)
情報科学研究科	情報科学専攻				
工学研究科	産業技術デザイン専攻				
芸術研究科	造形表現専攻				

※一般・社会人・外国人留学生入学試験を行う。

2. 出願資格

- 修士の学位(専門職学位を含む)を有する者又は令和2年8月までに取得見込みの者。
- 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和2年8月授与見込みの者。
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和2年8月授与見込みの者。
- 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和2年8月授与見込みの者。
- 文部科学大臣の指定した者。
文部科学大臣の指定した者とは、大学を卒業後、又は外国において学校教育における16年の課程を修了後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。
- 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和2年8月までに24歳に達する者。

(注) 上記の(6)により出願を希望する者については、入学資格審査を行う。42ページの「出願資格の認定」を参照すること。

一般入試

上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

社会人入試

[経済・ビジネス研究科]

4年制大学卒業後または在学中に実務経験3年以上を有し、上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

[情報科学研究科・芸術研究科]

4年制大学卒業後または在学中に実務経験2年以上を有し、上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

[工学研究科]

各種研究機関、教育機関、企業等に勤務している研究者・技術者で、上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

外国人留学生入試

上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者で、入学後、法に定める「留学」の在留資格を取得又はこれに変更できる者

(注) 日本国内の大学院を修了(修了見込みを含む)した外国人留学生は、一般の入学試験を受験すること。
なお、出願書類については、外国人留学生入試の出願に必要な書類を提出すること。

3. 出願手続

(1) 出願書類

提出書類	該当研究科等 (入試区分)	注意事項
① 入学志願書・受験票 履歴書(裏) [本大学院所定用紙 様式1]	全研究科	<p>本学所定用紙に必要事項を記入し、写真を貼付したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※印欄は、記入しないこと。 ・ ○の箇所は、いずれかを囲んでおくこと。 ・ 本学卒業または修了(見込)者は、学籍番号を記入すること。 ・ 受験科目欄は、筆記試験の選択科目について、選択し記入すること。 出願後の科目変更は認めない。 ・ 研究指導教員及び志望演習(研究)科目は、「各研究科の概要」の授業科目及び教員組織を参照し、担当者氏名の前に○印が付されている教員名と、その教員が担当する演習(研究)科目を記入すること。 ・ 研究指導を志望(第一志望)する担当教員との研究計画等についての事前確認を必ず行い、○を付けること。 ・ 経済・ビジネス研究科に出願する場合は、「各研究科の概要」の履修方法を参照し、希望するコースを志願研究科欄に記入すること。 ・ 外国人志願者が履歴を記載する際は、小学校入学から現在に至るまで空白期間がないように記入すること。 ・ 一般及び社会人志願者が履歴を記載する際は、高等学校卒業相当から現在に至るまで、空白期間がないように記入すること。 なお、社会人志願者は職歴も詳しく記入すること。 ・ 学歴を記載する際は、学部、学科名まで記入すること。
② 修士課程又は博士前期課程 の修了(見込)証明書	全研究科	<p>出身大学長等が発行したもの。(出願前3ヵ月以内のもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業証明書等及び成績証明書の発行を行わない外国の大学を卒業した者は、原本を出願時に提示すること。
③ 成績証明書	全研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。 ・ 現在の氏名と証明書記載の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改氏名を証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。
④ 修士の学位論文等	全研究科	<p>修士の学位論文を提出した者は、学位論文の写しを提出すること。</p>
⑤ 研究計画書 [本大学院所定用紙 様式3]	全研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・ ※印欄は、記入しないこと。 ・ 研究計画の概要(研究目的・研究方法等について)を1,000字以内(英語の場合は300words以内)で、記入すること。 ・ 書類を記入する際は、本学HPから様式をダウンロードすること。
⑥ 修士学位論文要旨・ 研究経過報告書 [本大学院所定用紙 様式5]	全研究科	<p>本人の研究成果であることを証明する出身大学の指導教員又はそれに準ずる者が署名・捺印したものを提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンを使用し、2,000字以内(英語の場合は500words)で、記入すること。 ・ 修士の学位論文を提出した者は、学位論文の要旨を記入し、提出すること。 ・ 修了見込者で修士の学位論文作成中の者は、研究経過を記入し、提出すること。
⑦ 研究業績調査書 [本大学院所定用紙 様式6]	全研究科	<p>修士の学位論文又は作品以外に研究発表等があれば記入し、提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別刷・写し等、資料を添付すること。 ・ 書類の記入は、パソコンを使用すること。 ・ 概要は100字以内で記載すること。又、共著及び共同発表の場合は、本人を含め、全員の氏名を概要の末尾に記載すること。 ・ 記入用紙が不足する場合は、適当な用紙を添付すること。
⑧ 研究・業務報告書 [本大学院所定用紙 様式7]	全研究科	<p>現在までに携わった研究・業務があれば、その内容を詳しく記入の上、提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記入用紙が不足する場合は、適当な用紙を添付すること。
⑨ 推薦書 ※任意提出	全研究科 (社会人のみ)	<p>官公庁及び企業等の所属長が作成したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様式随意
⑩ 健康診断書 [本大学院所定用紙 様式8]	全研究科	<p>出願前3ヵ月以内に受診し作成されたもの。診断書作成の医師については指定しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出願時の年度内に、学校・職場等で健康診断を受診した者については、その証明書(健康診断結果が明記され、学校長または所属長の証明印があるもの)で代えることができる。
⑪ 住民票 又は 公的機関が発行した国籍 を証明する書類	全研究科 (外国人のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内からの出願者は、区役所(市町村役場)から在留資格及び在留期間が記載されている住民票(出願前3ヵ月以内のもの)を提出すること。 ・ 日本国外からの出願者は、公的機関が発行した国籍を証明する書類を提出すること。 ただし、パスポートを所持している者は、氏名の記載及び写真の貼ってあるページの写し(コピー)でもよい。
⑫ 通知用ラベル [本大学院所定用紙]	全研究科	<p>確実に届く住所を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受験票及び合格通知書等を送付する際に使用するため、提出後に住所変更がある場合は、届出ること。

(2) 入学検定料

- ① 本学卒業(見込)者(留学生を含む)の出願者は、16,000円とする。
- ② 他大学卒業(見込)者が出願者は、32,000円とする。
- ③ 外国人留学生の出願者は、30,000円とする。

本大学院所定の郵便振替払込用紙により、最寄りの郵便局で払い込みを行い、「郵便振替払込受付証明書」を入学志願書の裏面に貼付すること。

(3) 出願上の注意

- ① **志願者は、出願前に、研究計画等について、研究指導を志望する担当教員と必ず話し合うこと。**
- ② 出願書類は、本大学院所定の出願用封筒に出願書類を取り揃えて出願すること。
- ③ 出願書類は、特に指定がない限り、本人が日本語でペン又はボールペンをを用い正確に記入すること。
- ④ 出願書類は、本学に持参することが望ましいが、都合により郵送する場合は、簡易書留郵便とし、締切日までに必着のこと。
- ⑤ 出願書類は、ひとつでも不足又は不備がある場合は受け付けない。
- ⑥ **出願書類提出後は、志望研究科・専攻・コース・研究指導教員等の変更は一切認めない。**
- ⑦ 証明書等の写し(コピー)は、受け付けない。
- ⑧ 日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。
- ⑨ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類の返還請求には応じない。
- ⑩ **不明な点がある場合は、出願前に、本学教務部大学院事務室に問い合わせること。**

(4) 願書受付時間・場所

- ① 受付時間
9時から16時まで(平日の11時20分から12時20分及び土日、祝祭日は除く)
- ② 受付場所及び問い合わせ先
九州産業大学教務部大学院事務室(九州産業大学内1号館1階)
電話 (092)673-5596

(5) 受験上の注意

試験開始後、20分以上遅刻した者は、受験することができない。

(6) 受験票の送付

出願手続き完了者には、願書受付期間後、本人宛に受験票を送付する。

4. 選抜方法

- (1) 試験場
九州産業大学(福岡市東区松香台二丁目3番1号)
- (2) 試験科目・試験時間

一般入試

●**経済・ビジネス研究科**の入学者の選抜は、筆記試験、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	10:00~12:00	13:00~
経済・ビジネス専攻	英語 (辞書一冊持ち込み可) ※ いずれの辞書でも可。 ただし、電子的辞書を除く。	口述試験 研究計画書を中心として行う。

●**情報科学研究科**の入学者の選抜は、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	10:00～
情報科学専攻	<p>口述試験</p> <p>現在までに携ってきた研究・業務及び研究計画について20分程度発表し、質疑応答を行う。受験者は発表の準備をしておくこと。発表に用いる言語は、日本語又は英語とする。発表にはPCプロジェクターを用いることができる。その後、面接を行う。</p>

●**工学研究科**の入学者の選抜は、筆記試験、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	10:00～12:00	13:00～14:30	本大学院出身者 13:00～ 他大学院出身者 14:40～
産業技術デザイン専攻	<p>英語</p> <p>(辞書一冊持ち込み可) ※ いずれの辞書でも可。 ただし、電子的辞書を除く。</p>	<p>専門科目</p> <p>【他大学院出身者のみ】 ● 専門科目について筆記試験を行う。</p>	<p>口述試験</p> <p>● 修士論文、研究計画書等の内容について口頭試問を実施する。 ● 口頭試問後、他の事項について面接する。</p>

●**芸術研究科**の入学者の選抜は、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	13:00～
造形表現専攻	<p>口述試験</p> <p>研究計画書及び修士論文又は作品等を中心として行う。</p>

社会人入試

●**経済・ビジネス研究科**の入学者の選抜は、筆記試験、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	10:00～12:00	13:00～
経済・ビジネス専攻	小論文	<p>口述試験</p> <p>研究計画書を中心として行う。</p>

【他大学院博士前期課程から本大学院経済・ビジネス研究科博士後期課程への社会人入試について】

「小論文」と「口述試験」に加え、「英語の試験」と「修士論文の発表」を課す。

なお、博士後期課程を修了せずに大学の教員として勤務している社会人の場合は、従来どおりに英語の試験も論文発表も免除し、小論文と、修士論文または最近の公刊論文を中心とする口述試験とで評価する。

●情報科学研究科・芸術研究科

一般入試と同様に、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

●**工学研究科**の入学者の選抜は、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	10:00～
産業技術デザイン専攻	<p>口述試験</p> <p>修士の学位論文、研究・業務内容及び研究計画書等についての口頭試問を含む。</p>

外国人留学生入試

●**経済・ビジネス研究科**の入学者の選抜は、筆記試験、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	10:00～12:00	13:00～
経済・ビジネス専攻	小論文	口述試験 研究計画書を中心として行う。

●情報科学研究科・芸術研究科

一般入試と同様に、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

●**工学研究科**の入学者の選抜は、筆記試験、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

専攻	10:00～12:00	13:00～14:30	14:40～
産業技術デザイン専攻	英語 (辞書一冊持ち込み可) ※ いずれの辞書でも可。 ただし、電子的辞書を除く。	専門科目 ● 専門科目について 筆記試験を行う。	口述試験 ● 修士論文、研究計画書等の内容 について口頭試問を実施する。 ● 口頭試問後、他の事項について 面接する。

(注) 日本国内の大学院を修了(修了見込みを含む)した外国人留学生は、一般入試を受験すること。
なお、出願書類については、外国人留学生入試の出願に必要な書類を提出すること。

5. 合格発表

- (1) 合格発表当日、午前10時に学内(公用掲示板)及び本学ホームページで公示するとともに、受験者に対しては通知文書を送付する。
- (2) 可否に関する問い合わせには、一切応じない。

6. 入学手続

合格者は、指定された期日までに諸手続を終えなければならない。期日以内に手続を完了しないときは、入学を辞退したものと取り扱う。

- (1) 入学金及び修学費等納付金(入学金・修学費及び委託徴収金の納付方法は分納とする)
入学金及び修学費等納付金第1回納付額(45ページ)については、令和2年8月19日(水)15時までに、銀行窓口で納付すること。
- (2) 入学手続書類
入学手続書類については、令和2年8月19日(水)16時までに、本学教務部大学院事務室に提出すること。

中国の大学卒業者の入学手続について

中国の大学卒業者は、以下のとおり中国教育部学位与研究生教育发展中心(以下“CDGDC”と略)において、大学卒業に関する認証報告書手続を行ってください。

1. CDGDCのホームページ「<http://www.cdgdc.edu.cn/>」に登録。
2. 学位認証に関する内容を確認。
3. インターネット用申込書に各項目を入力し、確認の上、オンラインで送信して申請。
4. CDGDCのホームページで認証申請手続後、電子メールで届いた「認証報告書」を出力。
5. 出力した「認証報告書」を入学手続書類と共に大学院事務室へ提出。